

町長	助役	課長	主幹	担当	合議

別記様式第4号

会議等結果報告書					
会議区分	会議 ・打合せ ・協議			文書番号	278
				決裁期日	平成18年5月1日
名称	(4月定例)課長会議				
日時	平成18年5月1日 午前9時00分～10時45分				
場所	上富良野町役場3階 第3会議室				
出席者	別紙名簿のとおり 町長・助役、課長職12人(内代理2人)、事務局2人 議案説明員 プロジェクト(サービス制限条例)説明員 2人				合計18人
内容	町長あいさつ				
	・天候不順が続いており、春の耕作作業への影響を心配している。				
	・6月定例議会に向けて、万全の準備をお願いしたい。				
	・自治のかたちプロジェクトの最終報告について、まちづくりトークを開催し、町民の皆様とこれからの自治のあり方について議論を深めていきたい。				
	・大正15年の十勝岳噴火から80年を迎え、実行委員会で様々な事業が予定されている。町としても慰霊の事業を検討していきたい。				
	・平成18年度も1ヶ月が経過したが、3月末に各課長に指示した各行政課題の対応をお願いしたい。				
	・大型連休中、交通事故のないよう職員に注意喚起願いたい。				
	以下助役が議長として会議が進行された。				
	1 町議会臨時会の開催について【総務課・議会事務局】				
	3 平成17・18年度一般会計補正予算について【企画財政課】				
	<別添資料参照>				
	総務課長・企画財政課長：総務課長より臨時町議会の付議事件について、企画財政課長より一般会計補正予算の概要について、別添資料に基づき説明する。				
	助役：老人保健特別会計の補正予算、上富良野高校存続に向けた行動、その他の付議事件の概要について説明。				
	町長：上富良野高校の件については、先般教育長とともに道教委へ要望してきたが、大変厳しい状況にある。今年度は特例2間口校となっているが、来年度は最低でも				

内 容	<p>4 1人以上の入学者を確保しなければ、統廃合の指定校になってしまう。廃校になれば、地域に与える影響は極めて大きく、署名運動へは職員も協力をお願いします。</p>
	<p>2 町議会 6月定例会の日程等について【総務課・議会事務局】</p>
	<p><別添資料参照></p>
	<p>総務課長：別添資料に基づき、議会日程及びその準備日程について説明する。</p>
	<p>助役：6月議会に上程若しくは協議を予定している課題があれば、発言を求める。</p>
	<p>保健福祉課長：西保育所の民営化に向けた取組みについて、所管委員会に説明したい。</p>
	<p>障害者自立支援の審査会等について、広域での合意が得られたので、補正予算等を上程したい。</p>
	<p>町長：行政報告については、自らの課や仕事についてPRする機会でもあるので、積極的にあげてほしい。</p>
	<p>4 町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置に関する条例について【税務課】</p>
	<p><別添資料参照></p>
	<p>税務課長：更に内部協議の必要性から、3月議会上程を見合わせたが、9月議会上程を目標に取組みたい。課長会議を中心に組織内の議論を深めたい。特に検討すべき課題として4点を整理している。</p>
	<p>助役：6月の所管委員会協議につなげる必要があるので、臨時課長会議を開催し協議を進める（早期に）こととしたい。日程は税務課長が調整願いたい。</p>
	<p>町長：「職員の徴収努力が足りない。」との声も聞かれるが、本来「税（使用料）は、納めなければならない。」という意識の高揚を図ることが大切であり、そういった点も考慮して制度化を図りたい。</p>
	<p>助役：今後、協議の場を設けるが、税務課だけの課題ではなく全庁的な課題であり、主体的な対応をお願いします。</p>
	<p>5 広聴活動の取組みについて【総務課】</p>
	<p><別添資料参照></p>
	<p>(1) まちづくりトークについて</p>
	<p>(2) 町長と語ろうについて</p>
	<p>(3) 出前講座の実績報告・募集について</p>
	<p>(4) 住民会意見要望取りまとめの見直しについて</p>
	<p>(5) 接遇改善アンケートの実施について</p>
	<p>総務課長：別添資料に基づき、説明する。</p>
	<p>助役：様々な広聴活動があるので、職員には事業のPRをお願いしたい。</p>

内 容	・特に、(4)の住民会意見要望については、新たな形に見直されている。口頭での要望も多くなるものと想定される。これまでは書面でいただき、書面で回答していたが、手続を簡素化し柔軟な対応を目指している。ただ、各所管課では、対応経過を明確化しておかなければならない。
	町長：「要望は出したが、何の対応もない。」ということのないように、対応の記録(受理簿)として、顛末をしっかりと整理し、書類として保管する事が必要である。
	助役：内部的には記録を整理しておくことは重要なので、既定の事務連絡録を活用していくことで良いか。
	全体：事務連絡録で整理していくこととする。
	保健福祉課長・町民生活課長：(5)の接遇アンケートについて、職員から趣旨説明してアンケート用紙を手渡すのは、実施当初でよいか。
	助役：その場に応じた柔軟な対応で良いのではないか。
	6 その他
	行革事務局関係
	(1) まちづくりトーク「自治のかたちを探る」の開催について
	<別添資料参照>
	行革事務局長：資料に基づき説明する。
	助役：各会場での意見等は、ネットワーク上で各自確認しておいていただきたい。今後の町長(町)としての判断が重要になってくる。
	(2) 行財政改革実施計画の推進状況について
	<別添資料参照>
	行革事務局長：資料に基づき説明する。行革の管理表は、情報公開しているので、実践状況を町民にPRする機会でもあるので、細かな点についても報告願いたい。
	全体
	(1) 総合計画実施計画の策定に伴う要望事業について【企画財政課】
	<別添資料参照>
	企画財政課長：策定作業について資料に基づき説明する。
	(2) 十勝岳噴火80周年の対応について
	<別添資料参照>
	総務課長：町としての対応(案)について、資料に基づき説明する。
	町長：開拓記念館をこういう機会にPRするとともに、活用を図ることを考えられたい。総務課において細部調整し、実行されたい。
	(3) その他
	町民生活課長：里仁地区の産業廃棄物施設設置業者から、施設の拡張計画の意向につ

